

一般質問事項(遠賀町議会第6回12月定例会)

平成26年12月16日(火)・17日(水)

12月16日(火)

1. 質問者 萩本 悦子 議員 (一問一答方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	学校における体力向上の取り組みについて	<p>小学校新体力テストの結果から、本町の児童の体力についてどのように考えるか。</p> <p>新体力テストの結果を踏まえ、どのような授業の充実を行っているのか。</p> <p>1学校1実践運動の実施によってどのような効果が期待できるのか。</p>	教育長
2	学校の管理下における児童・生徒の安全について	<p>本町の学校管理下におけるケガの傾向について尋ねる。</p> <p>ケガを防止するためにどのような取り組みを行っているのか。</p>	教育長

2. 質問者 仲野 新三郎 議員 (一問一答方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	A E D の設置促進について	<p>町内の公共施設における A E D 設置の状況は。</p> <p>自治区や団体等に対して補助金を交付する考えはないか。</p> <p>町内の小・中学校における救急蘇生法講習の実施状況は。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>教育長</p>
2	空き家対策について	<p>老朽化によって倒壊などの危険がある家屋についてどのような対策をとっているか。</p> <p>解体費に対して補助金を交付する考えはないか。</p> <p>「空き家の適正管理に関する条例」を制定する考えはないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

3. 質問者 古野 修 議員 (一問一答方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	町長の公約である「成長戦略」について	<p>柱となる構想は何か。</p> <p>「インフラ整備で未来をひらく」で掲げてある駅南開発の具体的構想について。</p>	<p>町 長</p>

4. 質問者 織田 隆徳 議員 (一問一答方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	遠賀川駅前の活性化について	<p>遠賀川駅前地域の街づくり構想を問う。</p> <p>遠賀川駅前商店街の再生手段を問う。</p> <p>J A北九遠賀支店跡地の利用計画の進捗状況を問う。</p>	町 長
2	遠賀川駅の改善について	<p>遠賀川駅ホーム屋根の増設及び駅舎からバス停までの屋根の増設について、その後の経過を問う。</p>	町 長
3	小学1年生の35人学級について	<p>小学1年生で導入されている35人学級の効果を教育長はどう判断しているか。</p>	教育長
4	中学校英語教諭の英語能力について	<p>本町の英語教諭の英語能力試験受験状況及び結果を問う。</p> <p>英語教諭の英語能力試験受験を進める考えはないか。</p>	教育長

12月17日(水)

5. 質問者 浜岡 峯達 議員 (一括方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	自立推進計画行動計画について	<p>行動計画の25年度進捗状況が、1年を経過しているのに一般公開されていない。理由は何か。</p> <p>25年度の実績から、26年度末で、第2期行動計画は100%達成できると考えているか。</p> <p>27年度より着手の第3期行動計画には、数値目標を定める考えはないか。</p> <p>行動計画を着実に達成するため、PDCAの管理手法を積極的に運用する必要があるのではないか。所見を伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

6. 質問者 堅田 繁 議員 (一問一答方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	空家等対策の推進に関する特別措置法が成立したことを受けての本町の対応について	<p>空家等対策計画を定める考えはあるか。</p> <p>法律化されたことで、町に権限が与えられた。それゆえに「特定空家等」の指定は厳格で抑制的であるべきだ。よって、周辺住民や有識者らから意見を聞く協議会を設置するべきではないか。</p> <p>空家等所有者把握のために固定資産税の納税情報を行政機関内部で共有し、空家等に関するデータベースを整備するべきではないか。</p> <p>空家の撤去が進まない理由として、解体費用に加え撤去後に固定資産税が6倍になることが考えられる。本町でも、撤去を促す制度を設けるべきではないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

		<p>仮称「空家等対策条例」を設置するべきではないか。</p>	町 長
2	<p>高齢者福祉サービスの充実について</p>	<p>改正された介護保険制度では、予防給付から新しい介護予防・日常生活支援総合事業への移行が示され、高齢者の多様なニーズに対応するため町が地域の実情に応じて総合的に事業を推進していくことになる。その実施時期はいつを予定しているのか。</p> <p>包括支援事業の取組を強化していくためには、これまでの地域包括支援センターの運営に加え、「地域ケア会議」の位置づけが重要になる。どのように推進する考えか。</p> <p>認知症初期集中支援チームを地域包括支援センター内に設置し、地域支援推進員と連携し認知症の人とその家族を訪問してアセスメントや家族支援をおこなう考えはないか。</p> <p>生活支援サービスの充実に向けて、ボランティアなどの生活支援の担い手の養成、発掘などの地域資源の開発やそのネットワーク化などをおこなう、生活支援サービスコーディネーターの配置や協議体の設置等を推進するべきではないか。</p> <p>介護保険制度の改正を受け、関係する事業者、利用者、介護従事者などへの説明会の実施をおこなうべきではないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

7. 質問者 加藤 陽一郎 議員 (一問一答方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	町長選挙では、5項目の成長戦略の政策を公約に掲げられていたが、この内容について	<p>5項目の中で、どこに一番重点を置き、力を傾注されるのか。</p> <p>「持続可能な未来をひらく」の項目の中で、駅北地区の多面的機能の強化を図るとは、どのようなことなのか、具体的に町長の考えを。</p> <p>「持続可能な未来をひらく」の項目の中で、定住促進のための政策を実行する、とあるが具体的にどのような政策をおこなうのか。</p>	町長
2	豊かなふるさと遠賀寄附金(ふるさと納税)について	<p>件数と金額は、相対的に少ないと思うが、町長の考えを、また、今後増やす対策をとられるのか。</p>	町長
3	農業問題について	<p>尾崎地区の法人化についての進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>後継者問題が深刻化すれば、今後大企業を本町の農業に参入させなければ持続できないのではないか、町長の考えは。</p>	町長

8. 質問者 萩尾 修身 議員 (一括方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	地域支援事業について	<p>現状のサービスは維持できるのか。</p> <p>財源の確保はどう考えているか。</p>	町長
2	介護予防訪問事業のボランティアについて	<p>介護に携わる地域ボランティアの育成をどのように進めていくか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会が中心となって育成していくのが望ましいと考えるが ・現在、各地域にて活動している福祉ネットワークのメンバーを核に輪を広げていくのが望ましいと考えるが <p>利用者負担金(利用者に対しての利用料金)は、いくらが望ましいか。</p>	町長
3	地域福祉活動について	<p>継続していくために、リーダーやコーディネーターの育成・確保が必要不可欠と考えるが。</p>	町長

9. 質問者 中野 嘉徳 議員 (一問一答方式)

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	ガン検診及びガン教育について	<p>ガン検診にピロリ菌除菌検査を追加する考えはないか。</p> <p>学校におけるガン教育はどのように考えておられるか。</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p>